

# 丸太切り指導マニュアル

道具・材・設置・指導		要件	備考
1	道具		
	馬	高さはひざ位置くらいとする (対象は主に小学生の低学年～高学年)	*固定型の馬ではガタつきやゆるみが無いこと(写真①参照) *丸太をノコで引く時、容易に倒れないよう安定な脚角度を有すること *簡易型の馬は裏面に滑り止めを付ける(写真②参照)
	ノコ	*丸太を切る人の体力に合わせたノコ目を選ぶ *竹を切る時は竹切ノコを使う(細かい目のクラフト用など)	*大人は荒目、子どもの場合は細目を用いる(JPAタケ間伐用など) *ノコの柄は長めが望ましい(間伐用は柄が短く歯が近いので注意) *良く切れるノコを用いる
	手袋	皮手袋を使うことが望ましい	子ども用の皮手袋が無い時は素手で切らせる(ノコが滑らないようにする)
2	丸太材		
	太さ	切る人の体力に合わせて丸太の径を選ぶ	(子どもの年齢に合わせて材の太さを変える)
	長さ	材の長さは馬の幅より十分に長いものを使う	短いと馬に乗せた時、しっかり固定できない
	材質	固すぎないものを選ぶ	ヒノキやスギは柔らかい/広葉樹は一般に固いものが多い
3	場所	設置 固定	*馬は浮やガタが無い安定した場所に置く *丸太を置く位置は馬の端から出過ぎのないようにする *丸太は指導者や補助者がしっかり押さえるようにする
4	指導 手順		
	事前の 安全 指導	*オーバーや身に付けたカバンなどは外すようにする *刃物の取扱いについて良く説明する *必要に応じて手本を示す	*作業のしやすい服装にする(参加者の貴重品は置き場所に注意する) *誤って使うと手や足を怪我をする/振り回さないなど *ノコは引く時に切れる(押す時は切れない)
	足位置	①引き勝手の良い方向に立たせる必ず ②切る位置に立ち、馬に近い側の足(内足)を前に、 もう一方の足を後ろに引いて立たせる	前足はノコの先が足元に来ても刃先が足に当たらない位置におく (写真⑤を参照)
	切り始め	切る位置を決め、ノコの歯を小刻みに前後し切溝を入れる	竹は滑りやすいので注意する
	切り方	*ノコの柄は両手で握り歯全体を使い小手先で切らずに手と 腰でゆっくり引く *ノコは上下方向ではなく水平に引くようにする	*ノコを立てて引くと、切終わり時に勢いで足の方向に刃先が来る
切落とし	切終わりに近づいたらノコは軽くゆっくり引く	指導者が事前に声をかける	
	その他	*切り終わったらノコは指導者に返す *団体の場合は公平性に注意する	切る回数や材の持ち帰りなどで不平等が無いようにする

# 丸太切り指導マニュアル

## 参考写真

① 固定型の馬（馬脚がしっかりしていること）



② 簡易型の馬（左テーブルに置いた所、



右:裏面に滑り止めを付ける)



③ 固定型の馬に丸太を載せたところ



④ 簡易型の馬に丸太を載せたところ



⑤ 切る時の足位置(簡易型の場合も同じ)

